



少人数教育の2学科制で、
高い専門性を備えた薬剤師と
研究意欲の旺盛な創薬研究者を養成する

薬学

School of Pharmaceutical Sciences

広島大学 薬学部



高い専門性と研究能力を備えた
薬剤師・薬学研究者へ

薬学科 [6年制]

薬学科では1～2年次で基礎薬学の学問基盤と知識を修得し、3年次以降に薬についての正確な科学的・医学的知識と研究マインドを身につけます。高い専門性を備えた薬剤師や薬学研究者となることを目指し、チーム医療の中で科学的観点から意見が言え、薬の適正使用に責任を持つ薬剤師としての能力を修得します。

グローバルに活躍できる創薬研究者、
医療・衛生分野の職能人へ

薬科学科 [4年制]

薬科学科では1～2年次で基礎薬学の学問基盤と知識を習得する一方、3～4年次に最先端の研究に触れることにより高い研究マインドを養います。医薬品の正確な化学的・医学的知識を背景に、医療の質向上と薬学研究の進歩発展への貢献を目指し、国際的に活躍できる創薬研究者・技術者、高度医療情報提供者、環境・衛生技術者等の職能人となる能力を身につけます。

患者の痛みを理解し 患者とともに解決策を考える 薬害の防止



全国薬害被害者団体連絡協議会協力のもと薬害被害者を招き、勉強会を実施しています。勉強会では被害者の方から話を聞き、共に討論することで、その苦しみを共感的に理解し、薬害防止に向けてどのように行動すべきかが学生が提案していきます。薬害を自分事と捉え、患者さんの身体的・精神的痛みのわかる薬剤師、できる限り副作用の少ない医薬品の開発を目指す創薬研究者として育つことを目指しています。

約160種の薬用植物を栽培・展示 附属薬用植物園

約160種の植物種を保有し、種々のハーブを含む薬用植物を栽培・展示しています。通常の植物園では見られない希少な植物もたくさんあります。また、漢方処方に関連する実習や植物の成分分析など、薬用植物についての教育・研究を行っています。一般の方の見学も可能で、花の多い5月から9月が見頃です。



卒後の イメージを 広げる

薬学科・薬科学科とも、卒業後の進路は広く開かれています。自分たちの可能性や進む道の多様性に早期に気づけるよう、大学院博士課程を修了した先輩や、社会で薬学を使って活躍する方々から話を聞く機会を1年次で設けています。

1年次から研究を 経験

薬科学科では、世界で活躍できる創薬研究者を目指すために、1年次後期から研究室を体験できる仕組みがあります。研究するとはどういうことか、日々の勉強が研究にどのようにつながっていくかを実感できる機会を設けています。



現役薬剤師の学びの場

薬剤師として活躍している人に役立つ話題や情報、生涯教育の機会を提供する「ヒロシマ薬剤師研修会」を例年夏頃に開催しています。薬剤師以外にも、薬学を勉強する学生をはじめ、薬学に興味がある人は誰でも参加可能です。ぜひご参加ください。積極的に新しい情報に触れていきましょう。



脳の代謝酵素を研究し、 脳疾患の予防や治療に貢献

大黒亜美 特定准教授
(生体機能分子動態学)

“頭が良くなる”として、サプリメントも販売されているドコサヘキサエン酸（DHA）。実はどのように脳に作用しているか、十分には明らかになっていません。私は薬の代謝酵素が、薬のみならずDHAも代謝することで、脳で神経細胞を守る働きを持つDHA代謝物を生み出していることを明らかにしました。またDHA代謝物は胎児の脳発達にも重要で、現在、その詳しい作用を解析中です。これらの研究は胎児の発達障害の予防に役立つことが期待されます。

DHA (ドコサヘキサエン酸) → 19,20-EDP (抗炎症作用を持つDHA代謝物) → 19,20-DHDP (神経保護作用を持つDHA代謝物)

文部科学省 「地域の医療ニーズに対応した先進的な薬学教育に係る取組支援事業」(2023年度)に採択

都市部＋ 中山間地域で行う 病院・薬局実習

薬学科では、都市部に加えて、人口が少ない中山間地域や近隣県での病院・薬局実習を行っています。在宅訪問や巡回診療など、都市部の実習とは異なる経験を通して、薬剤師として地域医療に対する見識を広げる機会を得られます。

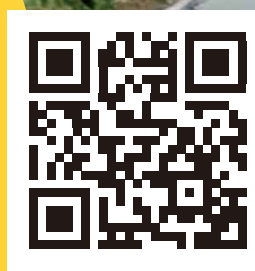


高校生が大学で 研究・実験を体験

研究者としても活躍できる薬剤師を目標とする広島大学薬学部では、薬学志望の高校生を対象に、高校では実施できない実験を体験する講座を開催しています。研究室の教員や所属学生・大学院生のサポートのもと、他校の高校生と協力して実験に取り組み、薬学研究の楽しさを体感できる講座です。実験中には、大学生活について学生たちに話を聞いたり相談したりする時間もあります。高校生の皆さんには、本学で薬学を学び、将来は、新型コロナウイルスパンデミックのような予測不能な事態においても課題発見・解決能力を発揮し、地域医療に貢献できる薬剤師・薬学研究者を目指してほしいと思っています。

いつでもどこからでも見学できる バーチャル薬草園

実際に来園して見学するだけでなく、いつでもどこからでも見学できる「バーチャル薬草園」を公開中。季節の移ろいとともにコンテンツを増やしていく予定です。薬用植物に興味のある方はぜひご覧ください。



<https://hirodai-vmg.jp/>

少人数教育で次世代を担う 薬剤師と創薬研究者

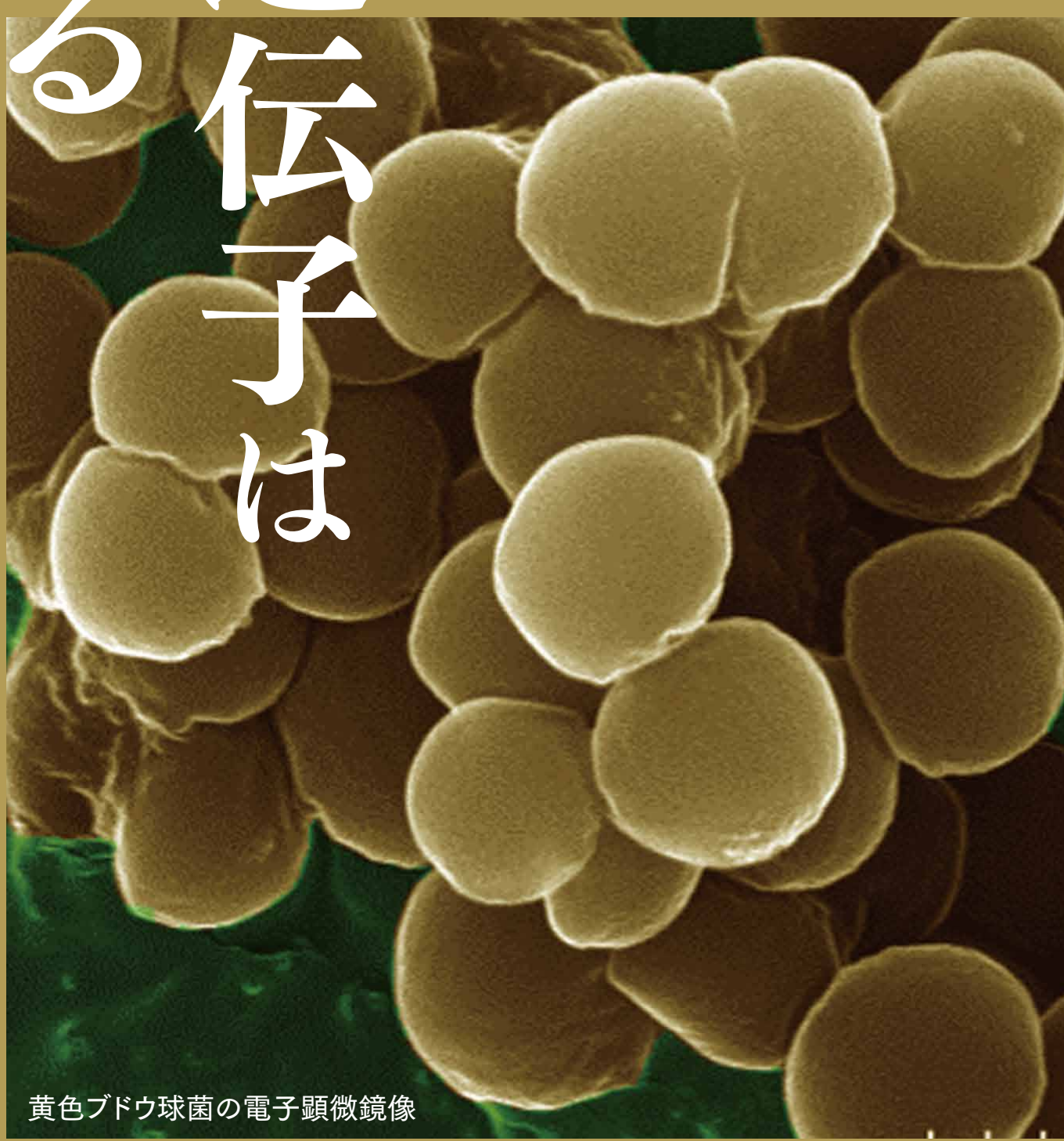
を育む

どこにでも 潜んでいる 抗菌薬耐性遺伝子は



黒田 照夫 教授
(微生物医薬品開発学)

抗菌薬耐性菌は世界共通の課題です。耐性菌は抗菌薬が存在する様々なところで出現しますが、この耐性に関係する遺伝子はどこに存在するのでしょうか。私たちはインドの研究所との共同研究を通じ、耐性遺伝子がヒトの腸内や動物、自然環境のどこにどの程度存在し、どのように細菌の間を伝播しているのかを次世代シーケンサーを用いて解明しようとしています。この研究により抗菌薬耐性の拡大を抑制することができると考えています。



黄色ブドウ球菌の電子顕微鏡像